

開館時間：10時～18時  
(中央館は火～金：20時)  
休館日：毎週月曜日、  
年末年始、その他臨時休館  
(分館は国民の祝日・休日)

# としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118  
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066

(三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716  
(大江分館) TEL・FAX 56-1017

## みんないっしょに年をとる「数え年」



いま ねんれい かぞ かた まんねんれい う とき さい たんじょうび  
今の年齢の数え方は「満年齢」といって、生まれた時は0歳。誕生日  
がきたら1歳ずつ増えます。昔は「数え年」という、今とは違う数え方を  
していました。生まれたその日が1歳。そして、元旦(1月1日の朝)が  
くると、誕生日とは関係なく、だれもがいっしょに一つ年が増えました。  
お正月には家族そろって無事に年をとることを喜びました。

### ◆ 参考にした本 ◆

『決まり・ならわし』 本木 洋子／文 玉川大学出版部  
『道具からみる昔のくらしと子どもたち4：年中行事』  
須藤 功／編 農山漁村文化協会

『由来からわかる日本と世界の行事図鑑』 山田 慎也／監修  
スタジオタッククリエイティブ  
『春夏秋冬の行事と食べもの』 たかい ひろこ／著 ポプラ社

### としょかん 図書館のお休みについて

#### 2月の臨時休館のお知らせ

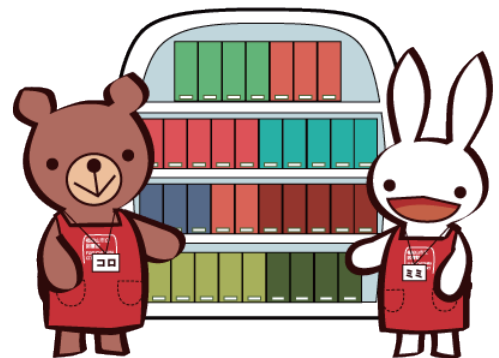
##### 【中央館】

令和8年2月17日(火)から22日(日)まで

##### 【三和分館・夜久野分館・大江分館】

令和8年2月12日(木)

令和8年2月17日(火)から20日(金)まで



図書館の定休日は月曜日。祝日は分館のみ休館です。

年末年始や臨時休館について、くわしくは図書館ホームページでお知らせしています。

図書館ホームページ <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/city-fukuchiyama/>

こんかい  
今回のテーマ

# たくましく生きる

## どうぶつ 動物たち

たいへんでも  
たくましく生きているよ!

### なんきよくけんものがたり 『南極犬物語』

(あやの まさる／著, くまおり 純／絵  
ハート出版)



にほん で なんきよく  
日本を出て南極に  
きち お かんそくたい  
基地を置いた観測隊。  
そこには22頭のカラフ  
けん さんが  
ト犬が参加していまし  
た。けれど、なんきよく  
悪天候が続き、隊員た

ちは泣く泣く犬たちを残して帰国しまし  
た。1年後、隊員たちが昭和基地にもどっ  
てくると、そこには2頭の犬の すがた

1956年南極に上陸した、南極観測  
隊の実話をもとにしています。

### 『子ねずみウォルターはのんびりや』

(マージョリー・フラック／作・絵,  
おびか ゆうこ／訳 徳間書店)



ネズミ村で家族とくら  
している子ねずみのウォ  
ルター。ある日、ウォル  
ターが学校から帰ると、  
うちの中はからっぽ。  
ひっこしにおいていかれ

てしまったのです。ウォルターは家族を  
さがす旅に出ることにしたけれど…

すえっ子でのんびり屋の子ねずみの  
大冒険ものがたり。

### 『よわいいきもの』

(こみや てるゆき かんしゅう あさひしんぶんしゅつぱん へんちよ  
小宮 輝之／監修, 朝日新聞出版／編著  
あさひしんぶんしゅつぱん  
朝日新聞出版)



「よわいいきもの」  
と聞くと、どんな  
いきものを思いう  
かべますか？世界  
には、からだが小  
さい、動きが遅い

など、よわくてもかしこく生きるいき  
ものがたくさんいます。172種類の「よ  
わいいきもの」を理由別に分けて、写真  
やクイズで紹介します。



# 児童おすすめの本



## 『きみのなまえ』



(あんず ゆき／作, かなざわ まゆこ／絵 佼成出版社)

たくとは近所の林で見かけた、さびしそうな野良犬を家で保護しようとはり紙をしました。そのはり紙が感動のドラマを生み出します。ほんとうにあった話をもとにした、一匹の犬とその「なまえ」にまつわる物語。

## 『おばあの手アタゴ』



(上條 さなえ／作, こやま もえ／絵 さ・え・ら書房)

小学校3年生のみるくは、不登校の初心者。そんなときおとなりに引越してきた、デパ地下が好きなまじるさん。まじるさんはどこからきたの？まじるさんが「やさしくていい人」と思われたくなかったのはなぜ？人が人を想って生きていく、あったかい物語。

## 『転校先の小学校が思っていたのとちがった 1』



(みどりかわ せいじ／作, TAKA／絵 国土社)

転校初日から、校風がちょっと変わっている小学校でのありえない歓迎に、小学5年生の義信は戸惑いっぱなし。ユニークな先生やクラスメイト、ぶっ飛んだ授業や係の仕事、ヘンテコなお店まで、いつも予想を超えることばかり。くすっと笑えるショートストーリー。

## 『AIの学校』



(まつお ゆたか／監修 ニュートンプレス)

絵をかいいたり、文章を作ったり、コンピューターが人間のようにものごとを考える技術・AI。なんでもできそうだけれど、AIが得意なこと・苦手なことはあるの？どんどん進化して、私たちの暮らしを便利なものにしてくれるAIの秘密を紹介します。



# ティーンズ <sup>ほん</sup> おすすめの本



## 『中学生のマネしたくなる勉強法』



(いゆぴ / 著 <sup>ちよ</sup> じつむきょういくしゅつぱん 実務教育出版)

これならできそう、ちょっとためしてみようかな、<sup>おも</sup> と思える勉強法をさがしてみませんか？<sup>じかん</sup> 時間を意識する、<sup>いしき</sup> 休憩の取り方など、<sup>きゅうけい</sup> 集中力アップの工夫や、<sup>か</sup> 書き写すのではなく<sup>うつ</sup> まとめるノートの作り方、<sup>つく</sup> おすすめアイテムまで。イラストや写真で<sup>しゃしん</sup> 楽しく<sup>たの</sup> 紹介しています。

## 『ごはん食べにおいでよ』



(小手鞠 <sup>こでまり</sup> るい / 作 <sup>さく</sup> satsuki / 画 <sup>が</sup> 講談社)

パンの<sup>かお</sup> 香りは、<sup>しあわ</sup> 幸せの香りだ。そんなことを思いながら、<sup>かえ</sup> ふとふり返ると、<sup>ちゅうぼう</sup> 厨房で一心に<sup>いっしん</sup> じゃがいもの皮をむいている、<sup>かわ</sup> 中学生の男の子の<sup>ちゅうがくせい</sup> 背中が<sup>おとこ</sup> 見えたような気がした。

ベイカリーカフェ「りんごの木」はまもなく<sup>き</sup> 開店。かつて、<sup>かいてん</sup> レシピを<sup>おし</sup> 教えてくれた人のことを、<sup>ひと</sup> 今はここにいない人のことを<sup>おも</sup> 思い出しながら…

## 『地底の姫ラサラ』



(名木田 <sup>なぎた</sup> 恵子 / 作 <sup>けいこ</sup> ポプラ社)

地底の国の<sup>ちてい</sup> 長の<sup>くに</sup> 娘<sup>おさ</sup> ラサラは、ある日、<sup>むすめ</sup> 敵国である地上の国に出で、その<sup>けしき</sup> 景色を知り戸惑う。そして、<sup>し</sup> 敵国の若頭<sup>とまと</sup> リュウとの<sup>てきこく</sup> 出会いによってラサラの<sup>なか</sup> 中で<sup>へんか</sup> 変化が起き、<sup>お</sup> 地底にも<sup>ちてい</sup> 異変が…！<sup>いへん</sup> 地底、地上のそれぞれの<sup>おも</sup> 想いが<sup>ふんとう</sup> からみあい、奮闘するロマンスファンタジー。

## 『チャリを盗んで、夜明け』



(黒川 <sup>くろかわ</sup> 裕子 / 著 <sup>ゆうこ</sup> 講談社)

中学3年生の<sup>ちゅうがく</sup> 巧海<sup>ねんせい</sup> は、<sup>たくみ</sup> 家庭の事情により<sup>かてい</sup> 生活費にも<sup>じじょう</sup> 事欠いていた。夜な夜な<sup>せいかつひ</sup> 自転車の<sup>ことか</sup> 窃盗を<sup>よ</sup> 繰り返して<sup>よ</sup> 金を稼ぐ。そんな暮らしの中、<sup>じてんしゃ</sup> ピアノを<sup>せつとう</sup> 積んだ<sup>く</sup> トラックの<sup>かせ</sup> 傍に<sup>な</sup> 座る男と<sup>なか</sup> 出会う。

<sup>しゃかいもんだい</sup> 社会問題を<sup>う</sup> 浮き彫りにしながら、<sup>きゅうさい</sup> 救済とは何かを<sup>なに</sup> 探る物語。